

大河原町

議会だより

第130号 平成26年2月1日

子どもは風の子元気な子

議会基本条例制定	②	③
議会報告会	④	⑤
町政への提言	⑥	
第5回定例会(12月)	⑬	⑭
議決責任の明確化	⑮	
常任委員会視察研修	⑯	
その後どうなったあの提言	⑰	

大河原町議会基本条例

議会基本条例とは、地方議会の運営をどのように行うのかを定めた条例であり、平成18年に北海道栗山町が全国に先駆けて制定し、その後各地方議会に広がっている。

大河原町でも平成25年6月に「議会基本条例に関する調査特別委員会」を設置し、計4回の委員会、6回の小委員会を開催し、協議・検討を行い、平成25年12月議会において条例化された。

行政需要が多岐にわたり増大する今日、地方分権時代にあつて自律的な自治運営を支えるため、行財政能力を更に強化することが必要不可欠となっていることから、大河原町の議事機関である大河原町議会の役割がますます重要となっている。

このような中にあつて大河原町議会議員は、大河原町民の負託にこたえるとともに、開かれた場での議論によつて透明性を確保しつつ本町の諸課題を解決するため、積極的に活動することが求められている。また、こうした期待される役割を果たしていくため、従来の行動指針にとどまることなく、自ら議会改革を進めていくとともに、議会の権限を更に強化していくと同時に、議員の役割と身分上の位置づけの明確化を図ることが必要となっている。

議会は、議会改革を更に推し進めることで、より一層町民に開かれた議会を目指すための在り方としての基本条例を明らかにし、町民福祉の向上及び町政の発展に寄与することを決意し、ここに条例を制定する。

条例の主な内容

▽目的（第1条）この条例は、分権と自治の時代にふさわしい議会に関する基本事項を定め、議会及び議員の役割、行動指針等を明らかにすることにより、地方自治の本旨に基づき町民の負託にこたえ、豊かなまちづくりの実現に寄与することを目的とする。

▽通年議会（第3条）議会は会期を通年とする。

▽議会の活動原則（第5条）議会は、住民主権を基礎とする町民の代表機関として活動する。

(1) 公平性及び透明性を確保するとともに、常に町民に開かれた議会を目指す。

(2) 町民の多様な意見を把握し、政策形成に適切に反映できるように、町民の機会拡充に務める。

(3) 議会運営は、町民の傍聴の意欲が高まるよう議案審議に用いる資料を提供するなど、分かりやすい視点、方法等で行う。

▽町民との関係（第8条）議会は、本会議のほかすべての会議を公開するとともに、町民が議会の活動に参加できるように措置を講じる。

さらなる議会改革

「議会基本条例」



▲議員全員での条例案の協議

▽情報公開（第10条） 議会は、信頼性を高めるための不
断の改革に努め、議会に関する情報を積極的に公開する。

▽議会報告会（第11条） 議会は、町民の参加と連携を深
める方策として議会報告会を年1回以上開催し、広く
町民の意見を聴取して議会活動に反映させる。

▽町長等との関係（第12条） 議会審議における議員と町
長等との関係は緊張関係の保持に務める。

(1) 議場で質問を行うに当たっては、対面演壇において、
町政の課題に関する論点を町民に明らかにするため、
一問一答方式により行う。
(2) 町長等は、議長又は委員長の許可を得て、議員の質
問等に対して反問できる。

大河原町議会政治倫理条例

議会政治倫理条例とは、地方自治体の政治家
の倫理について規定した条例である。

条例の主な内容

【目的】 政治倫理のより一
層の向上に努め、町民に信
頼される開かれた議会づく
りを進め、もって町政の健
全な発展に寄与する。

【議員の責務】 町民の負託
を受けた全体の奉仕者とし
て、自らの役割と責任を深
く自覚し、その使命の達成
に努める。

【倫理基準】 法令及び社会
規範に基づき、議会並びに
職員の品位及び名譽を損な
う行為を慎み、次に掲げる
政治倫理基準を遵守する。

(1) 不正の疑惑を持たれるお
それのある金品の授受、そ
の他の行為をしない。
(2) 町又は町が出資している
法人等や町の施設の指定管
理者が行う許可、請負等の
契約に関し、特定の者に有
利な取り扱い、又は不利な
取り扱いをするよう働き掛
けをしない。

(3) 町が行う許認可等の処分
や行政指導に関し、正当な
理由なく、特定の個人や団
体に対して有利な又は不利
となる取り計らいをしない。

(4) 政治活動に関する寄附に
ついて、政治的又は道義的
な批判を受ける恐れのある
ものは受けないものとし、
議員の後援団体等に対して
も同様に措置すること。

(5) 町税等の納付を誠実に行う。
(6) 町職員の公正な職務執行
を妨げ、町職員の権限・地
位による影響力を不正に行
使するよう働き掛けない。
(7) 町職員の人事に関し、議
員の地位による影響力を行
使しない。
(8) その地位を利用して嫌が
らせをし、強制し、又は圧
力をかける行為をしない。
また、いかなる場合であつ
ても、セクシュアル・ハラ
スメントや、その他人権侵
害のおそれのある行為はし
ない。
(9) 飲食物の提供等社会通念
上疑惑を持たれるおそれの
ある行為をしない。

平成25年11月21日、22日の2日間

15人の議員が3班体制で議会報告会を開催

37人の方にご参加いただきました

意見や要望があります

皆様ありがとうございました

〔小山田生活センター〕

問 「西地区交流センター」は何ができるのか。

問 西地区とは小山田も入るのか。

問 町から防災センターとの説明を受けている。小山田は地震より雨水、冠水が深刻だ。その状況で生活センターまで行けない。

問 小山田堀に関して、予算の問題かと思うが所々の施工などで土砂など堆積物が問題だ。特に下流部は堆積物に雑草が生えている。幹線道路で水路がコンクリートでないのは小山田ぐらいいではないのか。

問 一般会計、自主財源、依存財源は理解できる。県支出金や国庫支出金は、支出なのになぜ収入なのか。

問 繰越金は6000万円



▲小山田生活センター

しか使わないのか。

問 中核病院への取り付け道路工事はいつからなのか。

問 中核病院は各町負担なのか。

〔中央公民館〕
問 通年議会と条例の関係。

問 公金横領について家族

に議員がいるが辞職しないのか。ただ金額を支払えば終わりか。町民から請願書を出せば良いのか。なぜ議員から辞職を勧告しないのか。

問 予算について計画を上げしつかりやっているのかをチェックしてほしい。議会だけではなく各課も。

問 要望書を提出したが1年も町から回答がない。

〔南校集会所〕
問 10年以上伝えているが、大友商店前の側溝が狭く蓋がない。

問 側溝の土砂はいつまでこのままなのか。出来る範囲内は個人でやっているが、町として早急に対応してほしい。

問 議員も町職員も対応が遅い。まず現地確認を。

問 9月に行政報告会があり、地区や区長会からの要望を提出しているが、議会は把握しているのか。

問 議会だよりでの常任委員会等の視察結果は、その後どのように活かされているのか掲載してほしい。

問 多くの町民が参加できるように議会報告会の開催日や場所を検討してほしい。



▲南校集会所

同じ町内でも地区毎に こんなにたくさんの ご参加いただきました町民の

問 中央公民館の駐車場が
少ない。建替えも検討して
ほしい。

問 町で側溝等の放射能測
定は行っているのか。

〔金ヶ瀬公民館〕

問 放射能から住民を守る
特別委員会とは何なのか。

問 金ヶ瀬中東線の余剰地
を駐車スペースや花壇等と
して有効利用したいがどうか。



▲金ヶ瀬公民館

要望 金ヶ瀬カトリック保
育園の町道にフェンスの設
置を。

要望 町の放射能測定は誤
差が大きい。もう少し正確
な測定器にしてほしい。

要望 空き家対策について、
しっかり取り組んでほしい。

〔西原集会所〕

意見 台部団地周辺、カト
リック保育園周辺の放射能
数値が上がってきている。

問 報告会の集まりが悪い。
議員への不信感によるもの
か、説明会の形式に問題が
あるのか。数字の説明をさ
れても分かりにくい。

問 もっと身近な問題を取
り上げて欲しい。集会所建
替への説明があれば良いが。

問 集会所の老朽化対策を
早くしてほしい。集会所と
生活センターの違いが分か
らない区長がいることに疑
問。集会所備品の買い替え
が区の負担になっている。
ガス代の基本料金も馬鹿に
ならない。

問 大雨時の雨水対策はど
うなっているのか。また、
経過の説明が、町からない
のが不満である。

問 西原踏切の歩道が危険
なので何とかならないのか。



▲上谷東集会所

〔上谷東集会所〕

問 報告会参加者が少ない
ので広報車をまわす等、何
らかの策を考えてみては。

問 報告会実施の広報に、
もっと力を入れるべき。

問 議員の宣伝ではなく、
町政、議会の問題を絞って
説明する報告会が望ましい。
計画や議員の考え方を具体
的に聞かせてほしい。もっ
と興味を引くような内容で

報告会をやるべき。

問 本会議終了後、傍聴人
と話ができる機会が欲しい。

問 「ゆめプラン」につい
ての説明が不十分。放射能
問題についても説明が適切
ではない。議会はもっと役
場に対して物申すべきだ。

問 汚染土が農作物に及ぼ
す影響は。また、南小学校
の放射能からの安全性の確
証はどうか。

問 角田の新ごみ処理施設
が心配だが。モニタリング
ポストを設置してほしい。
焼却灰は大丈夫か。
また、最近雨水が黒く汚れ
るのが気になる。

問 「さくら大橋」のロー
ドヒーティングを安全対策
の為にやってほしい。

問 上大谷の県道でスピー
ド超過の車が多く危険であ
る。拡幅を希望する。

一般質問

町政への提言
Q & A

一般質問とは、町長や教育長に対して事務の執行状況や将来に向けての考えなどをただすもの。今回9人の議員が行った。

高橋芳男 議員 P⑦

- 妊婦の歯科無料検診を
- 子ども安心カードを
- 空き家等の適正管理を

岡崎 隆 議員 P⑧

- 具体的な雨水排水の対策を急ぐべき

堀江一男 議員 P⑨

- 町表彰式に関係者の出席を
- 消費税改正に対する町の対応について(掲載外)

庄司 充 議員 P⑩

- 再追跡、民俗資料収蔵室の充実を

佐藤貴久 議員 P⑪

- 教育環境のボトムアップを図る

丸山勝利 議員 P⑫

- 安全で安心して食べられる給食に

大沼忠弘 議員 P⑬

- 河川内堆積土砂や中洲、雑木撤去の県への陳情は
- 町内の空き家対策推進及び有効活用を
- 大河原クロスカントリー大会の位置づけを問う

佐久間克明 議員 P⑭

- NEXTゆめプランにおける町長公約の実現と財政見通しは

万波孝子 議員 P⑮

- 「特定秘密保護法」町長の見解は
- 消費税は町民のふところを直撃する
- 豊かな学校教育のために





たか はし よし お
高橋芳男 議員



一般質問

問 妊婦の歯科無料検診を

答 具体的な方法について協議を始める予定

高橋 日本歯学センターの田北行宏医師によると北欧では虫歯は両親から子どもに感染する感染症であると認識されており、妊婦健診に歯科検診を追加し、近く



▲妊婦への歯科指導

河原歯科医学会からご意見等をいただき、具体的な方法について協議を始める予定であります。

のかかりつけ医でも検診が受けられるようすすべきと思いますが、見解を問う。

町長 より効果的な方法として、かかりつけ歯科医で妊婦歯科健診を受診できるシステムを作るために、大

子ども安心カードを

高橋 昨年12月、東京都調布市の小学校で食物アレルギーのある女児が給食後に

死亡する痛ましい事故が発生した。その事案を通して群馬県渋川市教育委員会と消防署が協議を重ねて考案されたのが『子ども安心カード』です。子どもたちの安全安心につながる教育環

境の整備をすべきと考えますが、見解を問う。

町長 保健調査票、健康調査票で緊急の対応を、すでに全ての小中学校でおこなっておりますことから、子ども安心カードは今のところ考えておりません。

空き家等の適正管理を

高橋 昨年4月4日未明に爆弾低気圧が吹き荒れ、空き家になった建物からトタンや板が飛んできて危険だと相談を受けた。本来は、所有者がわからない、諸事情から管理されていない現状に、対策は取られないものか見解を問う。

本町としてどういった対策が考えられるのか、空き家対策条例の制定も含めて、今後検討していく。

町長 仙台市でも空き家対策条例を制定するようで、国の動向も見据えながら、他の自治体の事例を参考に、

暮らしの現場の課題に目配り

ちょっとひとこと

問 具体的な雨水排水の 対策を急ぐべき

答 設備の設置・補助・貸与等を検討する



おかざき たかし
岡崎 隆 議員



▲高砂町付近の冠水(平成24年台風4号)

一般質問

ゲリラ豪雨対策が全国で急がれる中、当町では残念ながら雨水排水対策が進んでいない。早急に具体的な取り組みが必要である。

岡崎 平成に入ってから雨水排水対策の取り組み状況は。予算と工事個所は。

町長 平成3年から平成19年まで新南・新東地区で約12億円、平成4年から平成10年まで上川原地区で2億円、平成4年から

平成11年まで約4億円の事業費でボックスカルバートの総延長約3000メートルの施工と丑越地区に約400万円排水ポンプを設置する等の対策をとってきた。

岡崎 町内の多くの場所で溢れ出す雨水により被害を受ける町民は減っていない。危険の高い地区を一目でわかる洪水ハザードマップを早急に作成すべき。

町長 マップは来年度の完成を予定している。

岡崎 洪水被害の危険度に応じて町が補助制度を導入し、家庭用雨水貯留タンクを町民宅に容量別に設置してもらうことが洪水のピークカットの効果が高いと考える。また、大雨の度に土嚢袋を利用する町民には重さ400グラムのものが雨水を吸うことで約20キロの土嚢となる製品が開発されている。町民に貸与する考えはないか。一つ1000円程度で町民が運ぶ際の負

担軽減にもつながる。最後に、ちくはくな対応ではなく、例えば建設が予定されている西原集会所の地下に小型雨水貯留施設の埋設、設置が可能か等の検討を役場が一つとなり、全ての公共事業で雨水対策が盛り込めるかの検討を図るべき。

町長 家庭用雨水貯留タンク、簡易型土嚢は費用対効果をみながら今後設置・補助・貸与等について検討を進める。公共事業の計画・設計の際に、今後は雨水対策を盛り込めるかについては、今後の検討とします。

町長公約と同等の
優先課題です

ちょっと
ひとこと



ほり え かず お
堀江一男 議員

問 町表彰式に関係者の出席を

答 関係団体をお願いしていく

堀江 町政発展等のため尽力された方々への畏敬の念を表す場としての「大河原町表彰式」の会場が中央公民館から役場会議室に移された事により、関係団体の方々の参列者が激減し、寂しい限りである。受賞者にとっては、一生に一度の事であり、できるだけ多くの関係者が出席されて祝福をすべきと考えるがどうか。

町長 国保税完納無給付者表彰が無くなったことや、近隣市町長の招待をお互いにしないことの申し合わせのほか、来賓の方々の出席も年々少なくなってきたという状況もあり、式典の簡

素化も併せ、公民館から役場の会議室に移したものです。今後の表彰式についても、受賞者の方に関係の深い団体等の代表の方の出席をお願いし、役場の会議室で、心を込めて表彰させていただきたいと考えている。

堀江 今回の表彰式で幸いだったのは、「以下、同文」がなく、一人ひとり表彰の文面を読み上げたことである。ある川柳に「以下、同文と褒められて」という記事を読んだことがある。このような失礼な表彰の授与はないと思う。一人ひとりの功績をきちんと読み上げて授与するのが礼儀と思う

が町長の考えはどうか。

町長 表彰式におきまして、永きにわたるご功績を顕彰させていただく事は、町としても大きな喜びでもありまた、受賞者の皆様に深く感謝申し上げたいの思いかから一人ひとり功績を読み上げて表彰させて頂いた。



祝 大河原町表彰式

▲今年度の大河原町表彰式

以下同文で褒められて

ちょっとひとこと

問 再追跡 民俗資料収蔵室の充実を

答 名称も含め今後検討する



しょうじ mitsuru 議員
庄司 充

一般質問

庄司 人類の長い生活の中
に思づく受け継がれた文化。

私たちは様々な道具と用具
をつくり生きるために使っ
てきた。それは衣食住とい
う人間が生きるための根本
原則の他に、仕事としての
生産生業、心の支えとなる
信仰、娯楽やスポーツ、教
育や芸術等多種多様である。
それ等地元の民俗資料を集
めて保存している民俗資料
収蔵室がある。ほとんど町
民からその存在すら知られ
ていない収蔵室は、東日本
大震災に遭い修繕修復され
たものの、訪れる人も少な
く、あのままでは忘れられ
てしまう。民俗資料収蔵室
を中心とした文化財に対す

る関心と考え方を示してほ
しい。

町長 後世に伝
えて行く資料を
収蔵し大切に保
管し、町民に広
く展示するもの
であり、文化発
展のため歴史と
伝統を尊重し町
行政全体を鑑み
た上で他の事業
と調整しながら
文化財事業に取
り組んでいる。

庄司 収蔵室の
整備充実をして
ほしいと前の一



▲民俗資料収蔵室

一般質問でしていたところ、
館内の展示状態がとても良
く、一新した現状をみて大
変喜んでいて。更に提案し
ていた専任事務員の件も優
秀な若い人を配して、きち
つと運営しており感心した。
後は建物外壁に大きな看板
を設置すること。収蔵室と
いうネーミングを資料館に
改正し、来館者増加を計る

ことが大事だと思っがどうか。
教育長 大看板は道路側の
見えるところに設置するよ
うにしたいと考えている。
資料館という名称について
は前向きに検討し、そのよ
うに実施したいと思う。中
长期的視点に立ち、考えて
いきたいと思う。

次はいよいよ
大河原町民俗文化
資料館の新築の実現を

ちょっと
ひとこと



さとう たかひさ
佐藤貴久 議員

問 教育環境の ボトムアップを図る

答 金小・金中一貫教育実現をめざす



▲町立金ヶ瀬中学校

小学生の体力、運動能力の向上をめざせ

佐藤 運動能力調査で県平均値を下回る動作はあるか。

教育長 握力調査が、全学年で平均を下回っている。

佐藤 運動習慣で学校外で一週間の運動時間60分未満の児童割合はどうか。

教育長 21%の児童が該当。肥満傾向の児童が増加。

佐藤 自転車通学は登録者に比べ、実利用者の割合は。

教育長 車での送迎事例が多い。徒歩通学を呼びかけていく。

佐藤 学校内で転倒によるケガの事例はあるのか。

教育長 顔面部位のケガが減少するように、指導していく。

中学教育のボトムアップと前期選抜入試の現実を問う

佐藤 大中における放課後学習会の実績はどうか。

教育長 参加者に、手が届きにくい現状にある。課題を解消する手だてを考える。

佐藤 学校と学習塾は協働できるのではないか。

教育長 現時点では、時期尚早と考えている。

佐藤 24年度、英検、漢検の受験料助成を提言したが、地教委の判断はどうか。

教育長 現時点では助成する予定はない。

佐藤 24年度、前期選抜入試の実績はどうだったのか。

教育長 実施一年目としては、実績は相当であると判断する。

金小・金中一貫教育実現の可能性は100%なのか

佐藤 一貫校は、同一敷地内、9力年カリキュラムなのか。

教育長 効果的な学習環境を構築するためのあり方を調査、研究する。

佐藤 施設一体型の一貫校の効用と課題とは何か。

教育長 先進事例を参照し、効用と課題を検証していく。

小学生の体力が低下
せめて6年間は
歩きませんか

ちょっと
ひとこと

問 安全で安心して 食べられる給食に

答 今後も万全を図っていく



まる やま かつ とし
丸山勝利 議員

一般質問

当町の給食センターは建設から36年経過し老朽化している。調理方式もウエット方式で、学校給食衛生管理基準に適合していない施設であり、また食物アレルギー対策も不十分である。3町共同による新しい学校給食センター整備計画が中止になった現状で、早急に新たな整備計画を進めなければならぬ。

丸山 地産地消の推進から地元農家の協力と農業の発展が大事である、地区ごとに給食食材を提供してもらえない体制づくりが大切ではないか。

町長 地元農家と連携を取りながら体制づくりを進めていきたい。

丸山 農作物の安定供給のためにも、農作物に被害を及ぼすイノシシなどの有害鳥獣対策が重要だが、今後の対応は。

町長 関係機関と連携を進めながら、さらなる対策を取っていく。

丸山 視察研修をしてきた給食センターは毎日給食の残量検査を行っている。当

町でも毎日行うべきではないか。また検査結果を踏まえどのような対策を取っているか。

教育長 給食の残量検査を年1回11月に5日間実施しているが、今後出来ると思われるので検討したい。結果については各小中学校に

知らせるとともに、今後の献立作成や調理上での工夫などに活かしている。

丸山 当町の給食費は県や大河原教育事務所管内の平均より高い。野菜などの納入を青果組合一社独占ではなく、入札制などを導入してはどうか。

教育長 給食費や給食用物資購入については、学校給食運営審議会の答申に基づき決定している。入札については、今後各関係機関と検討したい。



▲老朽化が進む学校給食センター

早急に新しい
給食センターの整備を

ちょっと
ひとこと



おお ぬま ただ ひろ
大沼忠弘 議員

問 河川内堆積土砂や中洲、 雑木撤去の県への陳情は

答 計画的に実施するとの回答を得ている

大沼 河川内の堆積土砂や中洲、雑木がかなり増えているが、県へは撤去の陳情を行っているか。



▲白石川葦神堰周辺

町長 継続要望しており平成25年度に保料地区付近の堰周辺整備を予定している。平成26年度からは大河原橋上流を計画的に実施するとの回答を得ている。

大沼 万が一白石川が氾濫、決壊した場合の想定及び対応策は万全か。

町長 地域防災計画の見直しに着手しているが、改訂前のものでも白石川堤防の決壊を含めた避難を想定している。避難に関する情報については、総合的に判断して発令するようマニュアル化されている。さらにはハザードマップ等で浸水予想区域や避難経路等を示している。

町内の空き家対策推進 及び有効活用を

大沼 空き家に関わる住民からの相談はこれまであったか。

町長 生活環境に関わるものが本年度で6件、防災上の観点からは2件の相談があった、この2件については所有者が未確定のままであったことから必要最小限

での安全対策を町において措置した。

大沼 空き家の有効活用について何か検討しているか。

町長 現在のところ有効活用についての検討はまだ行っていない。

大河原クロスカントリー大会の 位置づけを問う

大沼 町としてはこの大会をどのように位置づけているのか。

教育長 近隣も含めほとんどの大会がチップ式なので検討したい。

教育長 体力の維持・向上と健康の保持・増進を図る事を目的に重要な催しとして開催している。

大沼 チップ式の計測機器の導入は考えていないのか。

何か起きる前に
何かを想定した
施策の展開を

ちょっと
ひとこと

問 NEXTゆめプランに於ける 町長公約の実現と財政見通しは

答 財政とのバランスを図りながら
事業を展開していく



さくま かつあき 議員
佐久間 克明

一般質問

佐久間 「環境先進都市」実現をあげているが、継続可能な事業なら全体での予算規模は。設備設置を行う家庭へ費用一部助成する次世代住宅推進事業の財源は。

町長 県の再生可能エネルギー等導入補助事業を活用し平成25年度から3カ年で事業実施し、2億7800万円を予定。次世代型住宅推進事業について、町単独事業で一般財源を充当。

佐久間 子ども医療費助成は中学3年生までとなった。町長の公約では高校卒業まで。財政的負担が大きすぎるが、再度実現の意志は。

町長 追加的に実施してい

る医療費助成について自主財源での対応のため財政的に厳しい。当面中学3年生まで医療費無料化を図る。

佐久間 町立特別養護老人ホームの設置は実現可能と考えているのか。財源と運営コストは。待機解消との説明もあるが、県補助金が入れば、本町在住者のみ利用という附帯付きになるのではないか。

町長 重要と考える。広域型施設と地域密着型施設の2種類がある。今後国の制度見直し、設置主体・

施設規模・運営コスト試算等含め検討していく。

佐久間 大きな事業費を伴う柴田斎苑整備、学校給食センター整備、鷺沼排水区雨水整備等、長期的視点での財政見直しが必要と考える。公約の実現に総額いくら必要なのか。この財政運営では破たんしに追い込まれないか懸念される。町民の

不安にどう応えるのか。

町長 財政シミュレーションに織り込み済みで健全財政を保持。自治体は民主主義の学校とも言われ。公約実現について恒常的により財政負担を軽くする工夫を行うことから算出は控える。

佐久間 個人町民税一律5%減税は看板公約だが見直しプランに反映されないのか。

町長 費用対効果を考えた結果として判断している。



▲自立した町づくりに対応できる役場づくり

「今後検討する」は
本当に実現するのか
言ったもの勝ちでは

ちょっと
ひとつこと



まん なみ たが こ
万波孝子 議員

問 「特定秘密保護法」 町長の見解は

答

特定秘密が恣意的に指定される
懸念が払拭されていない

万波 この法律は何が秘密
かが秘密とされること。重
刑で国民を監視し国民の目
耳、口を小さくして、海外で



▲子どもたちに平和な明日を

戦争する国に
つくり変える
という憲法の
国民主権、平
和主義に反す
る大問題を抱
えている。政
府が募集した
パブリックコ
メントでも、
わずか2週間
で異例の9万
件も寄せられ
反対が8割を
占めた。町長
の見解は。

町長 政府与
党はなぜこんな早く成
立させたいのか。法案の
中身を国民が十分に理解
しているとは言えない。強
行採決と指摘されても仕
方ない。国民の知る権利が
損なわれないよう強く望む。



一般質問

消費税増税は 町民のふところを直撃する

消費税は高齢化社会や社
会保障のために25年前に
大多数の反対を無視して導
入されたが、年金削減等社
会保障はどんどん悪くなっ
ている。消費税8%になれ
ば、今以上に暮らしも営業
も大変で、その悪影響は計
りしれない。

万波 消費税増税をどう考
える。

町長 地方の経済再生と社

会保障に繋がると理解する。

万波 町財政に及ぼす影響は。

町長 歳出で約5000万。
歳入では地方消費税交付金
の増額。

万波 生活困窮者が一層増
えることが懸念される。対
策は。

町長 減税措置は適正に行う。

豊かな学校教育のために

万波 教員の時間外勤務の
状況は。

教育長 把握していない。

万波 全国学力テストの導
入は学校間や学級間に競争
主義を持ち込み、教師間に
過大なストレスを与えない
か。テストの公表をどう考
える。

教育長 指摘されている通
り、学校の序列化など問
題もある。公表は慎重に検
討する。

万波 金小中一貫校検討は
何故。

一人で悩まず困った時は
いつでも相談を

ちょっと
ひとこと

第5回定例会(12月)議案審議 大河原町世代交流いきいきプラザ条例可決 平成26年4月オープン

ほか21議案も全て原案通り可決

経営計画(第五次長期総合計画)基本構想に基づく後期基本計画の策定

〔反対討論〕

万波 孝子 議員

新規事業として、老人ホーム設立、再生可能エネルギー、大中2・3年生35人学級は評価する。しかし、金ヶ瀬小中一貫校検討は目的が全く理解できない。学校給食の民間委託の継続は問題であり、直営を望む。

丸山 勝利 議員

1年以内に実現するとの看板公約は反故にされた。また、財政調整基金は本年度だけで4億数千円も取り崩されたように、長期的な展望を持たない行き当たりばつたりのプランは、まさに町民を不幸にするものだと言わざるを得ません。

大沼 忠弘 議員

今後の財政見通しは大変厳しいと懸念しており、3%の歳出削減を前提とした財政調整基金を、平成28年度で9億超えを確保する根拠が不安である。適正値を維持した額とはいえず、まだ精査・修正の余地がある。

〔賛成討論〕

堀江 一男 議員

標準財政規模から見た財政調整基金の見込額は健全である。今回9億円の基金残高に反対で、前回平成23年の実施計画の3億7000万円の残高に賛成なのか疑問である。町民生活を第一に考え議員各位の賛同を求める。

岡崎 隆 議員

大河原管内の小中学校、特に中学校における課題が多い。根本的な解決策として魅力ある学校環境の整備という着眼点は評価に値する。この一つの施策のみをもって反対すべきでない。

子ども医療費の助成

〔反対討論〕

丸山 勝利 議員

選挙公約では高校まで無償化のほず。本来恩恵を受けられるべき保護者が受けられなくなる。また町長の説明責任が果たされて無い。非常に残念ではあるが、反対せざるを得ない。

〔賛成討論〕

岡崎 隆 議員

18歳までの医療費助成は

町長任期中の実現に向け強く提言していく。選挙中、町長を支えた一人として、全ての公約実現に重い責任を感じている。議員各位にはオール大河原の精神を持って賛同頂くことを望む。

万波 孝子 議員

町長の公約では、高校卒業までなので15歳までの引き上げは後退と言えるが、その理由を町民に説明し理解を得ること。高校卒業までは任期中に必ず実現すること。町長の説明から実現可能が読み取れた。

使用料等の一部改正

(集会所・し尿・体育施設・公民館・駐車場・駅前コミュニティセンター・下水道・水道)

〔反対討論〕

万波 孝子 議員

消費税が8%に引き上げられ、町民の負担は一層増える。平成元年に高齢化社会の為に導入されたが、年金削減等社会保障はほとんど削られ庶民だましてある。大企業には法人税減や輸出戻し税で莫大な還付をしている。増税は弱者いじめ。町歳出も増えるので反対する。

一般会計主な補正予算

収入

地域の元氣臨時交付金 551万円

地域子育て支援拠点事業補助金 558万円

子ども子育て新制度システム構築等事業費補助金 350万円

支出

子ども子育て支援事業システム構築等業務委託料 1589万円

母子・父子家庭医療費助成 150万円

養育医療費 166万円

みやぎ県南中核病院企業団負担金 △1059万円

雇用促進奨励金 60万円

道路維持管理委託料 700万円

公営住宅等ストック総合改善工事 1371万円

学校給食備品購入費 100万円

災害援護資金貸付金 90万円

《平成25年第5回定例会(12月)議案等審議結果》

議決責任の明確化

件名	議決月日	議決結果	議員別表決結果一覧														
			佐久間克明	須藤 慎	大沼 忠弘	高橋 芳男	岡崎 隆	丸山 勝利	堀江 一男	枘 和也	佐藤 貴久	庄司 充	万波 孝子	佐藤 肇	安藤 征夫	山崎 剛	秋山 昇
大河原町経営計画基本構想に基づく後期基本計画の策定	12/11	可決	×	○	×	○	○	×	○	○	×	○	×	退	○	×	議
都市計画法条例の一部改正	12/11	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
手数料徴収条例の一部改正	12/11	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
集会所設置及び管理に関する条例の一部改正	12/11	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
子ども医療費の助成に関する条例の一部改正	12/12	可決	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	議
元気な大河原っ子医療費助成に関する条例の一部改正	12/12	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
世代交流いきいきプラザ条例の制定	12/12	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
廃棄物処理及び清掃に関する条例の一部改正	12/12	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	議
都市公園条例の一部改正	12/12	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
体育施設条例の一部改正	12/12	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	議
公民館条例の一部改正	12/12	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	議
駐車場条例の一部改正	12/12	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	議
自転車等駐車場条例の一部改正	12/12	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	議
駅前コミュニティセンター条例の一部改正	12/12	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	議
下水道条例の一部改正	12/12	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	議
給水条例の一部改正	12/12	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	議
後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	12/12	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	12/12	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
水道事業会計補正予算(第3号)	12/12	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
平成25年度一般会計補正予算(第5号)	12/12	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
議会基本条例の制定	12/12	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
議会政治倫理条例の制定	12/12	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議

《表決の区分》 ○:賛成 ×:反対 退:退席、除斥 欠:欠席 議:議長なので表決に加わらず

埼玉県上里町議会 議会運営委員会が来庁

平成25年10月21日埼玉県上里町議会運営委員会6名の皆さんが「議会のインターネット中継・録画配信について」をテーマに本町議会へ研修に見えられました。本町議会より正副議長、議会運営委員会の正副委員長が出席し、ライブ・録画中継導入の経緯と現状、今年度から開始した委員会の映像配信等について説明をし、その後質疑応答、実際に映像システムを使いながらの意見交換を行いました。上里町議会では議会改革に向けての様々な検討が始まったばかりとのこと。議事中継が、誰もがいつでも時間と場所を選ばずに見ることが出来る、という単なる便利なツールとしてのものだけではないこと。出来ることから始めようというのは大事なこと。議会の情



報を広く分かり易く伝え、より住民に開かれた議会に向かつて更なる改革を進めていくことの重要性等について、幅広く意見交換をさせていただきました。

行政課題の 解決に向けて

～常任委員会視察研修～

総務文教常任委員会

休日夜間急患センター

〔新潟県西蒲原地区
休日夜間急患センター〕

当町との一番の相違点は、新潟県の場合医師会からの協力が大きいこと。夜間急患センターの設置数も多く、医師会で設立運営されている所もある。ここ数年は近隣へ24時間体制の新設もあり、年間8000人程度まで落ち込んでいる。夜間は1日平均10人〜15人。赤字の為基金を取り崩しながら運営を行っている。



▲新潟県西蒲原地区休日夜間急患センター

原子力発電の現状

〔柏崎刈羽原子力発電所〕

福島での事故を受け、15mの防潮堤をはじめ、施設の補強等安全対策が行われている。更に非常時に備え、日々各種訓練も行っている。放射線、温排水の周辺環境への影響調査を設置時から行っており、環境調査では線量は影響なく、海洋調査においても温排水による海域の水温、プランクトン、塩分への影響はない。

学校給食センターの現状

〔群馬県富岡市〕

旧富岡共同調理場及び旧妙義共同調理場が共に40年経過し老朽化したことから、平成17年の町合併調印に基づき、富岡市直営により新設されたフルドライ方式の給食センターである。臨時を含め40名で運営している。7台の配送車も保有し、うち5台を民間に委託している。給食費未納の対応として、仙台市の「法的マニュアル」導入を検討している。

産業建設常任委員会

空き家等の適正管理

〔茨城県牛久市〕

空き家問題の改善は基本的には所有者が行うことであるため、行政は条例に則り助言を行い、問題解決に向かうものである。助言↓指導↓勧告↓命令↓氏名公表といった流れで事務を進めることとなっているようであるが、最初の助言の段階での粘り強い話し合いによる解決を目指しているとのこと。指導以降の段階に進んでいない。

一店逸品事業

〔千葉県横芝光町〕

「お互いをまずよく知ろう」ということが契機であった。事業目的として①情報発信力の強化②大型店対策③組織化④消費者の要望把握⑤会員事業者の要望把握が挙げられる。衣・食・住・健康・美容・全ての商業に渡って展開されている。特に地元特産品を活かして飲食店がにぎわいを出すなど成果が表れているのがうかがえた。

災害時マンホールトイレ

〔千葉県千葉市〕

下水道直結型であり、上部施設は防災部局が調達・備蓄する部局間連携で整備しているのが特徴である。設置の条件としては①市防災計画に位置付けられた避難場所・避難所、広域避難場所であること②非常用井戸及び備蓄倉庫が設置されていること③排水用水源及び上部施設保管用④避難所となる体育館等が耐震化されていること。災害時の備えとして有効である。



▲下水道直結型のマンホールトイレ(千葉市)

その後どうなったあの提言

議員が行う提言は、町政にどのように反映されているのでしょうか。これまでの質問の中から、その後の経過について追跡レポートを実施してみました。

雨水対策



▲稗田前地区の冠水（平成24年台風4号）

イノシシ対策



▲箱わなによる捕獲

提言

平成24年9月・平成25年3月・平成25年12月

度々のゲリラ豪雨、台風での大雨被害に悩まされている、抜本的な対策を急いで欲しいという町民の声が長年数多く寄せられている。

提言

平成21年12月・平成22年12月・平成25年3月

耕作放棄地等の増加も要因になっている。イノシシによる農業、農作物への被害対策は。

結果

未解決

段階的、部分的治水対策工事は継続的に行われているが、雨水対策の抜本的な解決には莫大な費用と年月を要する。

結果

未解決

駆除はもちろんのこと、防護柵やLEDライトによる対策はとっているが、個体数が増えている。イノシシについては「これ」という決め手がなく大変苦慮している。

こんな町に住みたいな



金ヶ瀬中
小野 圭太

僕は、たくさんの人が安心して暮らせる町に住みたいです。誰もが安心して暮らすには、犯罪や事故がなくなれば良いと思います。犯罪では、万引きなどをする人がいなくなっしてほしいです。

事故では、交通事故が起きないようにするために、自動車を運転する人も、歩行者の人も、信号無視などをせずに気をつけることが必要だと思います。一人一人が気をつけることで犯罪や事故が少なくなり、たくさんの人が安心して暮らすことができる良い町になると思います。



金ヶ瀬中
高藤 梨乃

私が住みたい町は、みんなが笑い合える町です。

東日本大震災でみんな落ち込んでいたのに、いろんな地域から励ましの便りが届き、私たちや被災地の人たちが、今では笑い合えている所を見て、人の力で人を笑わせる事が分かったからです。だから、まだ笑顔になれていない人がいるなら、私たちの力で笑顔にして、みんなが笑い合える町を作って、笑い合える町に住みたいです。

3月議会のお知らせ 議会を傍聴しませんか
招集日 3月4日(火)・再開日 3月10日(月)
 詳細は議会事務局まで ☎53-2800

町村議会広報研修



11月7日、宮城県自治会館において深沢徹氏をお招きして「議会広報に求められるものは」と題して研修が行われました。

様々な広報編集に関する知識を教えていただきましたが、「テクニックでは補えないものがある。議会自体が改革や提言に向けた町民に伝わる見える活動が薄ければ紙面も薄っぺらになる。」という言葉が印象的でした。

街かど
ワンショット

どんとの火
 今年も1月14日に恒例のどんと祭が、町内各所で行われました。上町のお観音さんでも毎年無病息災、家内安全を祈願し正月飾りが焼かれます。子どもたちも温かい御神火にあたりながら、今年一年健康を願って可愛らしい手を合わせていました。

今回の表紙は

今日は始業式！
 今年も元氣いっぱい初登校。久しぶりに会う友達と冬休みの思い出を語り合うのかな。



(佐久間克明)

- 編集発行責任者** 議長 秋山 昇
- 議会広報編集特別委員**
- 委員長 岡崎 隆
 - 副委員長 佐久間 克明
 - 委員 万波 孝子
 - 委員 高橋 芳男
 - 委員 大沼 忠弘
 - 委員 須藤 慎